

# 島の音×寄席ライブ in 西ノ島



隠岐民謡しげさ会のみなさん



瀧川鯉斗さん



鏡味味千代さん



三遊亭兼太郎さん

5月23日(土)、中央公民館ノアホールにて「文化交流事業『島の音×寄席ライブin西ノ島』」を開催し、280名もの多くの方々にご来場いただきました。

本イベントは、地域の伝統芸能と島外からの外部文化を同時に楽しみ、世代を超えた交流と文化理解を深めることを目的として開催したものです。

前半は、地元の「隠岐民謡しげさ会」による力強いパフォーマンスが行われ、観客は島に受け継がれる郷土芸能の魅力を堪能しました。後半は、島外からお招きした瀧川鯉斗氏、三遊亭兼太郎氏による巧みな落語と、鏡味味千代氏による見事な太神楽曲芸が披露され、会場は笑い声と歓声に包まれました。

身近な「島の音」と本格的な「寄席」を一度に楽しめる贅沢な時間となり、盛況のうちに幕を閉じることができました。

5/16

地域のみんなでオキタンポポを守ろう  
摩天崖で自然観察会を開催

毎年実施している公民館事業「オキタンポポを守ろう！」を、今年も摩天崖で開催しました。

当日は天候にも恵まれ、今回も小学生から大人まで幅広い世代の方々が参加し、チームに分かれてオキタンポポの観察や個体数調査、外来種であるセイヨウタンポポの駆除を行いました。他にも春から初夏にかけて咲くさまざまな花を探しながら散策し、自然への理解を深めました。

令和6年度から始まり、今年で3回目になる本事業ですが、開始した時よりセイヨウタンポポの数が格段に減りました。反対にオキタンポポの数は増えており、参加者からは驚きと喜びの声がありました。

あらためて保全活動の大切さを実感する貴重な機会となりました。



▶ 熱心に話を聞く参加者のみなさん



5/19

元気に大きくなって帰ってきてね！  
園児たちが  
ヒラメの稚魚放流体験！



隠岐島前地域水産振興部会（役場産業振興課）では、栽培漁業の一環としてマダいの放流体験を行っています。今年も新たな取り組みとして、50ミリ以上に育てたヒラメの稚魚約2500尾を別府港から放流しました。当日は、シオンこどもえんとみた保育園の園児が合同で参加しました。「大きくなったら帰ってきてね」と元氣よく声を掛けながら、優しく海へ放流してくれました。



▶ 「大きくなってね！」と声を掛けながら放流しました

●お願い●  
水産資源を守るため30cm以下のヒラメを釣り上げた時は、また大きく育てかえてくるように願いをこめて放してあげてください。皆さまのご協力のほどよろしくお願いいたします。

5/30・31  
6/8

西ノ島ならではのおもてなしで歓迎  
クルーズ客船が相次いで寄港

豪華客船「ハンセアティック・インスピレーション」と「MITSUI OCEAN FURY」が5月30日（土）と31日（日）に相次いで寄港しました。多くの乗客は島内観光を楽しみ、港は抹茶の振る舞いやお土産の販売で賑わいました。出港時は多くの島民が船から見送り、温かいおもてなしの空気が満ち溢れていました。

また、6月8日（月）には「ハンセアティック・インスピレーション」が再び寄港しました。初出店した「しまのわトラック」のおにぎりが人気を集めたほか、じょんじょん太鼓の演奏で港は熱気が溢れました。夜には澤谷副町長による表敬訪問と民謡グループが船内で隠岐民謡を披露し、乗客は興味津々で見入っていました。

なお、10月20日（火）には、今年9月にデビューする「MITSUI OCEAN SAKURA」が初寄港します。恒例のお見送りが予定しておりますので、ぜひご参加ください。



▶ (写真上) お見送りで並走した船から見た三井オーシャンフジ (写真下) 澤谷副町長による表敬訪問